

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成26年10月(2014年) No.586

東京アマチュア映像祭全国コンテスト 有村博さんが「絆で帰郷」で入選を果たす

去る9月30日江戸博ホールで「東京アマチュア映像祭全国コンテスト」の発表会が行われ、関西から随一、有村博さんが「絆で帰郷」の作品で入賞に輝きました。まことにおめでとうございます。

私、合原も日本アマチュア映像作家連盟の後援事業でもありますので、会長として審査員の一人として審査に加わっていますが、自分の関係するクラブからの応募者の作品は、採点できないことになっています。審査員は東京のクラブ代表者たちが10数名おり、その上に青木寿一郎先生が委員長として採点に加わっておられます。今回はあらかじめ全応募作品をBD3枚(60作品近くの本数)にまとめ、審査員全員に配布され自宅採点したものを集計し、二次審査で順位を決めるというやり方でした。採点には最高点と最低点をはずして平均点を出し点数順に並べられたリストを元に、選考会議で順位入換の要不要等討議して決定されます。総じて今年の応募作品はレベルが高く甲乙つけがたいものが多数ありました。

有村作品は残念ながら入賞まであと一步のところまで上映されませんでした。青木先生の評価は高かったようです。海外まで同行していろいろ調べてくれる友人たちが居る、ということが素晴らしいとのご感想でした。

来年も同じコンテストは行われます。腕試しと思って皆さんも挑戦してみませんか。

■秋は映写会の季節：出掛けてみませんか

- ・10月18日(土)13時 映像きしわだ 作品発表会 岸和田市文化会館
- ・10月25日(土)13時 堺とれとれ映像祭 東文化会館フラットホール
- ・11月2日(日)13時 大阪アマチュア映像祭 大阪市立中央図書館
- ・11月3日(祭)13時 京都アマチュア映像祭 ひと・まち交流館
- ・11月16日(日)13時 OMC映像フェスティバル 大阪市立中央会館

10月例会のお知らせ

10月例会は第4土曜25日午後6時より難波市民学習センターにて開催します。秋も深まって朝夕めっきり気温が下がって来ました。風邪など召さぬ様ご注意を。月1回の楽しい集いにどうぞ。

■予告：12月例会は、年末何かと押し詰まってお忙しいでしょうが、予定通り、第4土曜日27日に行います。

13時から幹事会、15時より世話役会、18時より12月例会となります。

■1月例会は第4日曜（25日）13時より例会と懇親会を行います。5時頃から5階のいつものレストランで新年会を開催します。どうか手帳やカレンダー等にご予定を書いておいて下さい。

■OMCでフェス（11月16日）の午前中に、一般の来場者にあて、「ビデオ何でも相談会」を企画しています。初めてのことで、どの程度の人に来られるのか、どんな相談があるのか皆目見当が付きませんが、新しい人をクラブに入ってもらおうきっかけになればと考えています。反響がよければ、あらたに日時場所を決めて研究会の開催が考えられます。

9月例会のレポート

お彼岸も過ぎましたが、まだまだ厳しい残暑が続いている中、27日（土）例会が難波市民学習センターで開催された。この日、長野、岐阜県境にある御嶽山（標高3067メートル）が正午前噴火したとのにニュースが飛び込んできました。噴火は2007年以来7年ぶりだとか、多数の犠牲者がでている模様ですが少しでも被害が少ない事を祈りつつこの原稿を書いています。この会報がお手元に届くころは、結果が判明していることと思います。

今月の司会は上田氏、映写係に井上、河合の両氏、録画係に江村氏、受付係に華岡、紙本の両氏、書記は岡本（筆者）の担当で進行しました。

■出席者：有村、井上、上田、江村、岡本、紙本、河合、黒田、合原、関、進藤、高瀬、鉄具、錦、華岡、前田、宮崎、森口、森下、森田、山本、吉村、渡辺の23名と作品出

品的那須（以上敬称略）を合わせて17本の作品でした。他に見学者1名ありました。

■上映作品（今月の講評は岡本世話役です）

1. 加賀百万石 城下町ビデオ紀行(HDV)
那須典彦 13分00秒

那須さんは、例会にはなかなかお見えになられませんが久々に作品を届けられました。安定した画面で定評のある作者、加賀百万石の城下町をまとめられました。町の中心に日本三名園の兼六園や金沢城、石畳に土塀が続く武家屋敷跡が情緒たっぷりに描かれています。そのあと金沢市民の台所といわれる近江町市場の活気溢れる情景が映されてエンディングです。

映像はすばらしいので、ナレーションをいれられて10分くらいにまとめられればよくなるでしょうとの意見がありました。

2. 北宇智(BD)

江村一郎 8分50秒

JR和歌山線の北宇智（きたうち）駅のこと、今年の春に撮影された作品です。7年前にスイッチバックが廃止された映像に重ね合わせてまとめられました。さらに1970年にフィルムで撮影された映像をオーバーラップさせながらうまくまとめられました。よく記録に残されていました。鉄ちゃんファンにはたまらないアーカイブス作品になりました。

3. あべのハルカス(BD)

有村 博 6分38秒

今年の3月7日に、高さ300メートルと日本一の超高層ビル「あべのハルカス」が大阪市阿倍野区に開業しました。さっそく24日に撮影にいかれました。早く作っていましたが今回持ってきましたと作者。

まずは60階にエレベーターで上られて天上回廊から地上を撮影されていますが、町並みが小さく見えます。そのあと59階と58階そして16階の回廊を撮影されています。筆者はまだいったことがないので行った気分させていただきました。

4. 加太のまち (BD)

進藤信男 12分40秒

今年の春、OMCの撮影会が加太港界限と友が島を中心におこなわれました。すでにコンテストも終わっていますが、作者は友が島をまとめられたので今回の2作目は加太港界限をまとめられました。再度撮りたしにいかれたようです。

加太は、古くから瀬戸内海の入口として海上交通の要所でした。奈良時代からは、役行者の修行の場となり、弘法太子も訪れたとか、淡島神社など、そんな港町の紹介から始まっています。なかでも5月に行われたエビ祭りが画面を盛り上げています。

祭りをささえる若者が少なくなり、募集をしたところ100名を越える参加者で祭りを盛り上げていました。獅子舞の空中演技は圧巻でした。

5. 熊野河内・宵祭り (BD)

河合原七郎 7分27秒

和歌山県串本町古座で毎年7月に行われる河内まつりの御船行事です。源平の合戦で勝利した熊野水郡の凱旋模様と言われている盛大な舟のまつりです。その宵祭りをまとめられましたが、ところどころ音声不良があり再編集されるようです。本祭りも古座獅子舞いの奉納や權伝馬競争など大変迫力がある行事ですので是非編集して見せていただきたいです。

6. ラグーザーとシラクーサ (BD)

華岡 汪 12分55秒

イタリア最南端の島、地中海に浮かぶ最大の島シチリア島を尋ねられた作品です。3000年の歴史を持つ世界遺産の町、シラクーサは、古代の歴史が残り、17世紀に建築されたバロック様式の町並みが美しい。オール手持ちの撮影だそうで、静止画をうまく使っていてナレーションもうまいとの評価がでました。ピザのカットが2回出たので1回にしたほうがよいとの意見がでました。観光ビデオを楽しませていただ

きました。

7. 北条鉄道の旅 (前編) (BD)

紙本 勝 11分50秒

ローカル鉄道の旅を続けられている作者。今回からは北条鉄道編です。兵庫県小野市の粟生駅から加西市の北条駅まで13.6キロメートルを8駅、22分で結ぶ線だそうです。粟生駅、網引駅、田原駅、法華口駅の各駅で下車しての町の紹介などをしながらのぶらり途中下車の旅作品です。周辺をよく調べられてのご努力に感服します。最後の法華口駅の名物女性駅長さん、印象に残りました。残りの4駅を後編として発表されるようで楽しみにしています。

8. かやぶきの里・放水銃訓練 (BD)

渡辺雄史 6分30秒

京都府南丹市美山町にある茅葺きの里。ここは国の重要伝統的建造物群保存地区として選定されています。この村は50戸ほどの集落ですが、うち38戸が茅葺きの家です。茅葺き屋根の住居は火に弱い建物のため、母屋ごとに「放水銃」が配備されている。使用時は遠隔操作により放水される仕組みになっている。その訓練の様相を取材されました。緑の山村に白い放水の色が美しい景観を醸し出していますが、ほんとうに火災が起こればそれどころではないと思いました。三脚の位置を考えないとカメラが振れにくくよけいなものが映ってしまうとの意見がありました。

9. GFO ウォークスルー (PC再生)

井上勝彦 7分00秒

映像の最先端をいく理学博士の井上さん。今年の3月、6月例会では、魚眼レンズをつけた6台のGoProカメラで撮影、パノラマ編集した全天球(周囲360度、上下180度)映像をPC再生により、インタラクティブに視野や、投影図法を変化させた上映を拝見しました。

今回は更に改良したものだそうで、2台

のカメラ搭載で全天周、4台で3D全天周の映像が可能になったそうです。グランフロントオーサカのスタビライズされた歩き撮り360映像を見せていただきました。

上映前の説明では、ハリウッドでも360映像を使った映画制作が始まった例も紹介され、実写映像を使った仮想現実（バーチャルリアリティ）の動向が注目を集めているようです。

10. 鵜飼舟・燃えろ篝火（BD）

森口吉正 10分45秒

京都宇治川の鵜飼、8月に行ってきましたと作者。宇治川の紹介から映像は始まります。夏の暑い夕暮れ、夜の帳が降りるころ、宇治川の川面に篝火が映え、女性の鵜匠と鵜の絶妙な技が画面を飾ります。流暢なナレーションにのせてひとときの夏の風物詩を観賞させていただきました。

11. 播州姫路音頭（BD）

上田吉巳 4分00秒

作詞、作曲、歌入りに映像をつけられました。姫路城と桜、灘の喧嘩まつりの映像でつづられました歌謡ビデオです。楽しませていただきました。

12. 九分散策（BD）

前田茂夫 7分39秒

今年の3月に台湾の台北市に、OMCの仲間と旅された時の作品です。作者は台北市で生まれ、9年間お住まいされた後日本に帰国されました。前作の「70年ぶりの帰郷」でも発表されています。その台湾東部の町、九分を尋ねられた作品です。この街は、金の採掘で栄えた山間の集落で、映画『非情城市』の舞台となったところで日本統治時代の面影を色濃く残したレトロな街並みを拝見しました。幼いころの郷愁が蘇ったことと思います。

13. 人・魚・鳥（BD）

山本正夢 9分00秒

いつも海外の映像をみせていただきありがとうございます。今回はスリランカの漁

師町の様子が撮影されています。漁場で働く漁民、魚をねらう鳥など港の情景を拝見しました。

14. りんくうタウン散策（BD）

吉村健一 5分20秒

昨年の10月例会から入会されて、初めて作品を持参されました。

なにかのサークルの歩こう会の企画でしょうか。関西空港の玄関口、泉南郡田尻町の歴史資料館からはじまります。りんくうタウンの街の散策をまとめられました。参加者の皆さんの表情などをいれられればよかったですと思いました。でもナレーションを入れられて立派な作品になりました。はじめて拝見しました。次回作期待しています。

15. 遭遇（BD）

錦務 7分00秒

タイトルを拝見してなにがおこるのやろうかと興味津々として鑑賞させていただきました。まずは京都大原の寂光院の映像からはじまります。新緑の大原に佇む寂光院は天台宗の寺院、平家ゆかりの地として知られるとのナレーションで解説されていきます。やがて大原女の時代行列がやってきました。これに遭遇しましたとのナレーションでやっとわかりました。おそらく行列を知らないで行かれて遭遇して感動した作品にされたと思います。新緑に大原女の行列が映えます。すばらしい作品になりました。

次の2作品は時間切れのため次月に持ち越しとなりました。優先上映となります。

・紀州のお台場を訪ねて（BD）

鉄具嘉夫 5分00秒

・手力の火祭（BD）

高瀬辰雄 6分20秒

以上で例会を終え喫茶組と居酒屋組に別れてそれぞれ二次会を楽しみました。